

震える舌 (1980)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 114分

初公開日 1980/11/22

公開情報 松竹

【解説】

破傷風の女の子と両親の、病魔との闘いを描いたヒューマン・ドラマだが、野村芳太郎独特のオカルトテイストな演出により、すっかり和風エクソシストのようになってしまった。埋め立て地での泥遊びにより破傷風となってしまった女の子。死亡率が非常に高く、光、音などの刺激により激しい痙攣を引き起こすこの病気の看病は非常に困難で、母親は、その疲労により徐々に精神を蝕まれていく……。暗幕により光を遮られた病室で、痙攣を起すたびに口から血を吐き、弓のように体を仰げ反るその様子は、まさに“悪魔に取り憑かれた”が如くで恐ろしく、女の子を演じた若命真裕子の秀でた演技力のもとより、看病による疲れから、徐々に狂気じみてゆく母を演じる十朱幸代の迫力もまた逸品。

【クレジット】

監督 野村芳太郎

製作 野村芳太郎

織田明

原作 三木卓

脚本 井手雅人

撮影 川又昂

美術 森田郷平

編集 太田和夫

音楽 芥川也寸志

出演 渡瀬恒彦 三好昭

十朱幸代 三好邦江

中野良子 能勢

若命真裕子 三好昌子

北林谷栄 昭の母

宇野重吉 小児科医長

越村公一 江田

梅野泰靖 昭の兄

中原早苗 貞恵

矢野宣

日色ともゑ

加藤健一

佐古雅誉

中島久之

是枝正彦

